

# 支部だより

(令和7年度第1号)

2025年9月30日発行

信越・北陸支部事務局 〒386-0025 長野県上田市天神 2-4-53 ジオグランドドエル 602

支部ホームページ: <https://mtooffice2020.wixsite.com/jmtash>

## 一般社団法人 日本音楽療法学会 信越・北陸支部 第22回学術大会（石川大会）を終えて

大会長 佐藤順子



去る2025年6月22日(日)に「金沢勤労者プラザ」にて、日本音楽療法学会信越・北陸支部第22回学術大会を開催させていただきました。現地とオンデマンド配信のハイブリット開催で、支部会員だけではなく、他支部からも多くご参加をいただき、現地参加43名、オンデマンド参加52名、市民公開講座には学会員以外の準備協力者6名と一般の方23名が参加され、合計124名の方々にご参加いただきました。支部大会では初の試みとして、現地参加の皆様にもオンデマンド配信をし、更にご要望にお応えして再配信をいたしました。ご参加くださった皆様、準備に関わってくださった会員・実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。そして自らも穴水町で被災され、金沢市を中心にキッチンカーで生計を立てながら、他の仲間たちと復興・再建を目指し、能登の食材を使用して能登の応援弁当を作ってくださいくださった福岡富士子さんへの義援金は5万円となりました。確実に福岡様にお渡しいたしました。皆様の温かなご支援に心から感謝申し上げます。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

令和6年(2024)能登半島地震、豪雨災害の被災地での開催であることから、音・音楽による支援についてどうすればお役に立てるのだろうか、更には音楽療法を見つめなおす場になればいいなどの思いから、大会テーマを「復興・復幸と共に～人に寄り添える音の力～」としました。始めに近藤清彦支部長からご挨拶をいただき、令和6年4月に設立された能登半島地震対策特別委員会について、MTAT(災害派遣音楽療法チーム)と称し、ボランティアではなく業務として音楽療法チームを派遣すること等を改めてお話くださり、身の引き締まる思いがいたしました。

午前の第1講：綱川淳美先生のワークショップ「いのちの表現としての音」ではアンケートに「横のつ



ながりができてその後の過ごし方にも良い影響があったと感じました」「大変良い時間でした！タンバリンの叩き方ひとつでこんなに音色が変わるということ、人と手を繋いで安心感の中の動きは、音もどっしりと芯のある音に変わること、繋がることで笑顔が増えたことなど体感できてよかったです」と書いてくださっています。



第2講：宮本啓子先生の講習「ひとりひとりの命が輝くために～ミュージック・ケアの実際～」が行われ、「映像なども入れながらとても聞きやすい講演でした」「生きようとする力を回復するために、一人の人間として尊重する、手をつなぐこと、温かい眼差しを持つ、優しい笑顔と優しい声掛けをする等学びました。私の音楽療法にいかしていきたいと思います」と寄せてくださいました。

午後は市民公開講座として、池田憲治先生による講演会「熊本地震の経験から能登に伝えたい事～被災地支援での音楽支援について考える～」が開かれました。熊本地震を体験され、実際に支援をされてこられた経験と知識に基づいた説得力のあるお話に、会場の皆さんは聞き入っていらっしゃいました。音楽で支援することの良い面と注意をしなければならない事等を教えていただき、とても貴重な時間でした。その後のシンポジウムでは、シンポジストの方々が各々災害現場で会っていらっしゃることがあの場でわかり、親しく話されていたことがとても印象に残っています。民間、行政、被災当事者と立場は違っていても復旧・復興・復幸の為に尽力され、お一人お一人の真実に基づいたお話に心打たれました。既に音楽療法による支援を続けていらっしゃる先生方は勿論の事、信越・北陸支部の皆様にもご協力をお願いし、手を繋ぎ一緒に活動ができるようになったら嬉しいです。

今大会では、一般市民の方や後援・協賛をいただいた各種団体や病院・施設の方々にも、改めて人に寄り添うことができる音楽療法の重要性を知っていただける機会になりました。大会準備から開催当日やオンデマンド配信において、ご迷惑をおかけしたことも多々ございました。その度に会員の皆様からは温かな言葉をかけてくださり助けていただきました。ありがとうございました。反省点は次の支部大会に引き継ぎたいと思います。最後に、支部会員の皆様のさらなるご活躍をお祈りして、大会報告とさせていただきます。

※本大会の記事が2025年6月23日「北陸中日新聞」に掲載されました。新聞社の承諾を得て支部だよりにも掲載させていただきます。



音楽によって傷ついた心身の回復につなげる日本音楽療法学会の信越・北陸支部第22回学術大会（北陸中日新聞後援）が22日、金沢市北安江の金沢勤労者プラザであった。能登半島地震の現場で活動した人々から話を聞き、今後、どんな支援ができるかを考えた。

北信越地域から会員約70人が参加した。支部によると、これまで能登半島地震では加賀市などに2次避難した被災者に音楽療法で癒やしを届ける活動はしてきたものの、奥能登などで活動した実績はほとんどないため、実態を学ぶとともに支援者となつた。

午後にあったシンポジウムでは、輪島市などで支援活動に当たる社会福祉法人佛子園の雄谷良成理事長が登壇。「避難所では不謹慎で酒を飲めず、店の駐車場で飲んでいる被災者が多かった」と紹介し、堂々と飲めるようにイベントを行ったことに触れ「そういう場が必要だった」と

## 日本音楽療法学会 被災者支援考える

### 金沢で信越・北陸支部大会 現地の実態を学ぶ



語った。

日赤奥支部の北村裕一・防災ボランティアリーダーからは断水時の過酷なトイレ事情を、金沢市社会福祉協議会の北脇宣和・地域福祉課長からは被災者の孤立防止の取り組みを聞いた。

信越・北陸支部メンバーは「災害時に音楽療法でどう支援につなげるか、見詰め直して行動するきっかけにできれば」と話した。

（井上靖史）



シンポジウムで被災地の実態を話す登壇者。金沢市北安江で

## 第23回 信越・北陸支部学術大会 長野大会ご案内

日程：2026年6月20日(土)

開催場所：サントミュージゼ（上田市交流文化芸術センター） 長野県上田市天神3丁目15番15号

北陸新幹線・しなの鉄道・上田電鉄別所線「上田駅」から徒歩約7分

開催方法：現地開催

大会テーマ：地域と響き合う音楽療法～持続可能な実践とネットワーク形成～

大会長：近藤清彦 実行委員長：高橋和奈枝 事務局長：大日方侑子

### ～実行委員および当日協力員を募集します～

#### 長野県会員の皆様へ

来年度開催される支部学術大会長野大会で、大会実行委員および当日のお手伝いをしていただける協力員を募集します。詳細は、後日メールでご連絡します。

QRコードを読み取り、Google フォームにてご返答ください。

お問い合わせ：[mt.naganotaikai.2026@gmail.com](mailto:mt.naganotaikai.2026@gmail.com)



## 日本音楽療法学会信越・北陸支部 令和7年度第1回幹事会報告

1. 日時：令和7年6月1日（日）19：30～21：20
2. 場所：zoom によるオンライン会議
3. 出席： 近藤 清彦 支部長 欠席 宮本 啓子 副支部長  
丸山 敬子 教育委員長（書記） 海老原 直邦 幹事 大竹 孔三 幹事  
野瀬 千晶 幹事 欠席 松浦 千賀 幹事 欠席 道下 和美 幹事  
宮川 深雪 幹事 高橋 和奈枝 事務局長（進行）  
陪席： 佐藤 順子 監事 前田 登志枝 監事 大日方 侑子 広報委員長

#### 議事および報告

- 1) 令和6年度事業報告および決算報告について承認された。
- 2) 令和7年度事業計画および予算案について承認された。
- 3) 令和6年度能登半島地震特別対策委員会の総会における報告について確認された。
- 4) 令和8年度第23回学術大会（長野県）について企画が検討された。
- 5) 令和7年度第22回学術大会開催（石川県）について進捗報告があった。
- 6) 令和7年度書面総会の日程および手順が確認された。
- 7) 教育委員の欠員補充について選出と確認がなされた。
- 8) 教育委員会から、令和7年度活動報告があった。
- 9) 広報委員会から広報誌およびホームページに関する報告があった。



## 日本音楽療法学会信越・北陸支部 令和7年度第23回 総会報告

今年度の支部学術大会は現地開催及びオンデマンド配信による形式での開催であったため、書面総会いたしました。結果は会員の皆様にはハガキにてお知らせしましたが、ここに再度報告いたします。

### 日本音楽療法学会信越・北陸支部第23回総会議決結果

- 1) 議決権行使書提出数：82 通
- 2) 議案1：令和6年度事業報告・決算の件 賛成 82 反対 0
- 3) 議案2：令和7年度事業計画・予算の件 賛成 82 反対 0
- 4) 結果：書面提出がない場合は賛成とみなし、すべての議案について可決された。
- 5) 1名の会員より以下の意見・提案があった。
  - ・支部学術大会は演題発表を重視すべき
  - ・支部だよりなど連絡物の電子化の促進
  - ・支部登録団体が主催する講習会のハイブリッド化の促進

### 〈各登録団体からのお知らせ〉

#### ・富山県音楽療法協会

令和7年10月勉強会 10月24日 10時～

#### ・信濃音楽療法研究会

第216回定例講習会 11月22日 13時～

※詳細は支部ホームページ（お知らせ）に掲載しています。各登録団体の講習会情報、MTAT(災害派遣音楽療法チーム)の情報や他支部の学術大会につてなども掲載していますので、ぜひご活用ください。こちらのQRコードを読み取り、支部ホームページをご覧ください。



### 役員と委員(敬称略)

支部長	近藤清彦	副支部長	宮本啓子	事務局長	高橋和奈枝	教育委員長	丸山敬子
幹事	海老原直邦	大竹孔三	野瀬千晶	松浦千賀	道下和美	宮川深雪	
監事	佐藤順子	前田登志枝		広報委員長	大日方侑子		
教育委員	竹田祐子	中村裕子	藤掛賜枝	宮川深雪	宮谷早苗		

### 編集後記

涼しい風が吹く季節となりました。私は、今年度の支部学術大会に参加させていただきました。自然災害による心身の傷は深く、復興には時間とともに多くの支援が必要であると感じました。私たち音楽療法士が、継続的に支援できる可能性についても考えるきっかけとなりました。来年度は長野大会となります。この先も音楽療法士が、日々の実践を継続的に進めるためにどうしたらよいかという問いからテーマが決まりました。ぜひ皆様と一緒に考えていきたいと思います。

(広報 大日方)